

Volunteer Center

ボラセンだより



編集・発行

東金市ボランティアセンター

〒283-0005

東金市田間421番地

ふれあいセンター 2F

☎ 0475-52-5198

FAX 0475-52-8227

togane.shakyo@cronos.ocn.ne.jp

http://www.togane-shakyo.jp/

ボラセンだより 第24号 2012年4月発行

被災地支援ボランティアに参加して 匿名希望

被災地支援ボランティア活動に参加させて頂き有り難うございました。いつ起こるともわからない地震や津波の恐ろしさを実感し、日々の生活の中での家族の絆を考えさせられました。限りある時間、今回の活動の大きな目的の1つは「被災地を実際にみる」という事でしたが、私にとっては少々心残りでした。

被災後1年が過ぎ、徐々に動き始めた人たちと一緒にって体を使つての交流がしたいと考えていました。例えば農業（草取り）魚業（水仕事）花壇作り、など、など。私に出来ること、誰にでも出来るお手伝いで、被災地と具体的な関わりを持って、そして私自身も学び、少しでも役に立てれば幸いと思っておりました。

初めての参加でしたが、……。

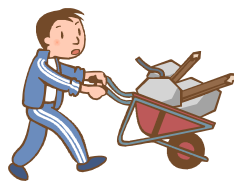
以前より被災地の状況をTV、新聞で見ても納得できる部分がある。東北地方は遠いので時間規制がある。

個人でのボランティア活動は難しいこと。

自分自身の中に課題が残り、募金などの支援についても理解できるようになりました。



被災地支援ボランティア実施
三月十七日（土）大里総合管理（株）野老真理子さんご協力の下、東金市ボランティアセンターとして被災地支援ボランティアに行きました。半数以上の方が震災後初めて東北に来たということもあり、被災地域を見る時間が多く取られ、その中で感じたことを感想として書いていただきました。



初めて行ってみて

濱路真帆

今回の活動では被災の現状を見て、清掃や仮設住宅の訪問をさせていただきました。私は初めて東北に行かせてもらいましたが、始めは被災地を見て何も感じませんでした。元の地域を知らない私が何もなくなくなってしまった場所を見ても、どう感情を起こしていいかわからなかったのです。野老さんが「元々、住宅地があったのよ」と言った時に愕然としました。ここで生活していた人の幸せを奪ってしまったのかと思った時、初めて怖いと感じました。また、遠くの方にまだまだ手つかずの所も見え、やるべきことの多さを痛感させられました。

仮設住宅の訪問では突然の訪問にも関わらず、快く迎えてくださり、人のやさしさに触れ、逆に元気もらってしまいました。震災のあった時の話をたくさん聞きたかったけれど、いきなり来た人に気軽に話してくれる人はあまりいません。思い出すのも辛い人もいるでしょう。私が訪問した家には2枚の写真がありました。旦那さんと息子さんでしょう。ぼろぼろになってしまった写真だったけど、大切に大切に飾られていました。何度も何度も会いに行き、その人の心の痛みを少しでも軽くしてあげられるようにしたいです。人の絆は簡単には作れないけれど、簡単には崩れないと信じています。つながり続ける手伝いをこれからしていきたいです。

今度は友人を誘ってその和を大きくしていきたいです。今回の活動を通して「心」で活動していくこともできたらいいなと感じられました。すばらしい機会をありがとうございました。

支援の輪を広げよう！
東日本大震災から二年
被災地
支援ボランティアに参加



